

# 東白川村 美しい村づくり 委員会

## 第八回

- 場所：ふれあいサロン（神戸）
- 時期：平成 28 年 11 月 14 日 19：00～21：00
- 参加者：委員 5 名 ゲスト 3 名 行政 5 名

### 【「集落あるき」の振り返り】

10 月 16 日に平地区、10 月 23 日に加舎尾地区、10 月 30 日に西洞地区と、集落あるきを開催したため、その振り返りを行いました。

#### 〈参加者の意見〉

- ・体全身の五感を使い、ゆっくりと時間をかけて歩くことが大切
- ・1 回で終わるのはもったいない
- ・聞く技術、聞く姿勢、案内人を導く技術の向上が必要
- ・個人の思い出にもっとスポットを当てたかった
  
- ・今まで見えていなかった景色を見ることができた
- ・旧道に興味が出た
- ・昔の生活や遊びなどをもっと詳しく知りたい
- ・美しい村スポットにも繋げていけるとよい
  
- ・秋であれば、紅葉のきれいなスポットなどがほしい
- ・子供と一緒に歩きたい（親子での参加者が増えるとよい
- ・ただ歩くだけでも十分得るものがたくさんある
- ・一緒に参加した家族も楽しんでいた
  
- ・どうして東白川村だけお寺が復興しなかったか、廃仏毀釈についてもっと学びたい

- ・昔やっていたことを今やると先進的だと思う。平地区が栄えていた頃の風景を見たい
- ・聞く人によって様々な話がたくさん出てくるから面白い
- ・集落によって視点も違う
- ・3週続けての開催・参加は体力的に辛い
- ・季節によってもまた見えるものが違ってくると感じた
- ・村に長年住んでいても知らないことがたくさんあった
- ・日曜日だと住民とあまり出会うことがないが、出会ったときはどんどん住民も巻き込んでいくと良い
- ・企画の段階では不安があったが、話を聞いていて参加したいと思った
- ・今回見つけたスポットなどをストーリー付けして田舎を紹介することもできるのでは…と感じた
- ・場所や人にスポットを当ててゆっくり話を聞くのも良い
- ・子供の目線は大人には気づけないこともあったりして大切だと感じた
- ・小さなお子さんや小学校中学校の子供達も今後参加していけると良い

#### ▼個々の意見から

みなさんの感想として、「楽しかった」、「時間が足りない」といったことが特に共通していました。今後どうやって集落あるきを行っていくか、修正していかなければならないという反省が出ました。

これらの振り返りをもとに、今後も集落あるきという企画を継続していくのか、継続していく場合の集落あるきの方法はどうしていくのか、それとも他の企画を実行していくのか、他の企画を行う場合はどんな企画にするのか…などと今後の美しい村づくり委員会の方向性を話し合いました。

### 〈まとめの意見〉

- ・ 今のような感じでゆるく聞いていくスタイルが良いと思う。
- ・ 時間をたっぷりかけても良いと思う。
- ・ 村の子供達たちにも伝えていきたい。
- ・ 完成した集落マップはどこかに展示するのが良いのでは。
- ・ 全集落（19 集落）を回りたい・
- ・ 参加者に関しては“来る者拒まず”
- ・ 開催頻度は月に一度で、半日ほど時間をかけて実施する。
- ・ 冬に入ると回るのが困難のため、3月からスケジュールを決める。
- ・ 東白川村出身の越原一郎先生（名古屋女子大学）に講演を依頼するとか、委員の数名で講演を聞きに行くのはどうか？

